笛吹市地域包括支援センター運営協議会並びに

笛吹市地域密着型サービス運営に関する委員会 会議録

開催日時	令和6年8月5日 午後1時30分から午後3時20分
開催場所	笛吹市役所本館3階 302会議室
出席者	委員12名
欠席者	7名（委任状6名）
市役所職員等	7名（保健福祉部長・長寿支援課3名・介護保険課3名） 北部・南部包括各1名：笛吹市地域包括支援センター運営協議会のみ出席
傍聴人	0名

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員の紹介
- 5 役員選出

選出方法は、運営協議会設置要綱第5条の規定により、会長副会長は委員の互選によると定めている。委員からの立候補者がいなかったため、事務局が推薦したところ、次のとおり承認された。

会 長 荻野 健 様（介護保険事業者連絡会会長）

副会長 天野寿喜 様（笛吹市民生委員児童委員協議会）

6 議 事

（1）笛吹市地域包括支援センター運営協議会

① 令和5年度地域包括支援センターの事業報告について

事務局 資料に基づき説明

委 員 初期集中支援チームの皆さんのご苦勞が伝わってきて、長い方は2年以上かかったということですが、どんなご苦勞されているか何となくは分かるのですが、ご家族の協力も大きく影響してますでしょうか。ご苦勞されているということや、なかなかスムーズにいかないことは感じております。とてもいいチーム、支援だとは思っておりますが、初期集中支援の状況について、もう少し説明をお願いします。

事務局 委員のおっしゃった通り、ご家族の支援をある程度いただける方というのは、比較的この初期集中支援チームの目標の期間が大体6ヶ月ぐらいで、比較的早く次の制度に繋がっていくというところがあります。具体的に言いますと、例えば受診のときのお手伝いをしていたりとか、遠方に住んでいらっしゃるご家族でも、専門職が関わって受診の日程調整等をして、チーム員が付いて行くということで結果を聞きに行っていたり、重要な検査のときには行っていただくけれども、それ以外のときはチーム員が付き添わせていただいたりしています。そのような役割分担をする中で、協力をいただける方については大変ですが比較的サービスや受診に繋がり、薬をいただいたりすることができます。

また、上野先生には大変ご協力をいただいております、要介護認定の申請が必要なケースでなかなか受診に繋がらないケースは、先生のところにご相談を申し上げて、受診の調整をしていただいたり、書類を書くための検査を他の方の中でうまく間に組み込んでいただき、受けさせていただいたり、調整もしていただいたりしています。逆に、一番期間のかかった12か月、28か月の方はご家族のご支援がほとんど受けられない方でした。ご家族がいない方とその方との関係性が悪くて、ご協力いただけなかった方です。そうすると毎日訪問するわけにもいかず、間で間で訪問をさせていただきながらの支援となり、関係を築くことがなかなか難しく思うような支援に繋がらなかったこともありました。

会長 上野先生の方からも先生のお立場でというか、現地入りで何かありましたら、情報の提供等をお願いします。

委員 認知症初期集中支援チームサポート医の上野です。スムーズに行く場合と、ご家族がいない、そうでなくてもご家族があまり親身になっていただければ、特に比較的近くにいてもあまり関与してくれないご家族もいます。そうすると受診に繋がりにくいケースによっては、私が行ってそこである程度話をし、診断書を書いた方もいます。最近はいないのですが、なかなか一人暮らしだと誰か来ること自体も拒絶されることがあります。チーム員の方が熱心に訪問してくれるのですが、かえって警戒する方もいます。そこで、ご家族にしても親戚の方にしても、少し周囲でケアしてくれるような方がいると捗りやすいような気がします。どういう方が大変そうだと、というようなところも、チームの方と情報共有ができてきていますので、その経験を基にしながらアプローチの仕方もうまく考え、発展しているところだと思います。

会長 ありがとうございます。先生のような方がいらっしゃると本当に安心だと思いますので、今後とも、ぜひよろしくをお願いします。

皆さんの方から何かありますか。

私の方から、地域包括センター長の北部と東部南部が来ていらっしゃっていますので、介護職員のみならず、居宅のケアマネージャーが少なくなっているとか、先ほどの医療、認知症、あと虐待の事例等々、様々な問題があると思います。センター長として何か1年間の活動で簡単にお話いただきたいと思います。

北部長寿包括支援センター長 昨年度から私達も委託を受けて関わらせていただくこととなります。

特に、私は包括支援センターも初めてで、全く初めての業務というところで来させていただきました。1年経ったところです。一番感じているのは、本当に最初の窓口なのですね。私は、介護保険のデイサービスとか、訪問リハビリテーションとか、病院の回復期の病棟だとかでも働いていましたが、そういうところはケアマネージャーを経てるのですが、包括支援センターは、一番最初の窓口というところで、全くその方の情報がない状態で相談をお受けするという立場になると本当に感じます。「初めまして」というところから、何に困ってらっしゃるのか、何が問題でどういうことをしていきたいのかを本当に丁寧に聞いていくことが必要な窓口が、地域包括支援センターなのだと思身知り、また勉強させていただいているところです。その中でも、石和、春日居地区が、一人暮らしの高齢者の方たち、身寄りのない方、生活保護の方だとか、そういう方が結構多いのかなという印象があり、その方たちの困りごとに対して、どのように対応していくかというのを日々勉強しながら対応させていただいております。

南部長寿包括支援センター長 南部は、まず総合相談ですが、身体機能の低下であったり、認知症というところでは、そのように判断しているが審査診断を受けているわけではないという場面での相談は多かったところがあります。そういった身体とか認知症に関することについては、引き続き、例年、総合相談の課題を抽出しながら、次年度の取り組みで対応しているという状況です。あと、権利擁護の関係の虐待につきましては前年度に圏域の中では2件でしたが、やはり複合的課題を抱えた世帯で事象が起きた案件がありましたので、総合相談も各事業について課題を抽出しながら、その次の年度の取り組みという形で実施している状況です。

会 長 はい、ありがとうございました。皆さんの方から何かありますか。
先ほどの話の中でACP 人生会議ですとか、あと医療介護施設の虐待事例が少し多かったという報告ありました。時間があれば少しお伺いしたいところなのですが、限りがある時間ですので、もし皆様からご質問ご意見なければ、ご承認いただけるということによろしいですか。

委 員 異議なし。

会 長 ありがとうございます。では、報告の通りということにさせていただきます。

② 令和5年度地域包括支援センターの決算報告について

事務局 資料に基づき説明

会 長 今説明いただいた収支決算につきまして、西海部長初め長寿支援課、介護保険課の皆さんに本当に適正な行政運営をお願いありがたく思っているところです。事前の資料として予算書もいただいておりますので、数値の方を読み上げてきたところは、少しコンパクトにできるかなとも思いながら、今伺っておりましたので、今後またご配慮いただけると助かります。よろしくお願ひします

皆さんの方から何かご質問ご意見ありますでしょうか。特にないようでしたら、令和5年度の地域包括支援センターの決算報告について報告通りとしてよろしいでしょうか。

委 員 異議なし。

会 長 ありがとうございます。では、異議なしとのことですので報告通りとさせていただきます。

③ 介護予防居宅介護支援事業所の承認について

事務局 資料に基づき説明

会 長 大体平均して1事業所当たりの受託件数はどのぐらいになるのですか。

事務局 事業所の規模によるので1件当たりということは、なかなか難しいのですが1人当たり受け持っていたいでいる数は、5件前後ぐらいまでだと思います。ケアマネージャーの数の多い事業所は数として、多く受けいただいている状況がございます。

会 長 居宅の事業所の数、それから居宅のケアマネージャーの数が、不足してきていると聞いております。適正な事業所の選定ということも含めて、今後ともよろしくお願ひします。
皆さんの方から特にご質問ご意見なければ、承認とさせていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

委 員 異議なし。

会 長 では、承認とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

④ 笛吹市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の改正について

事務局 資料に基づき説明

会 長 人材確保、特に包括の場合は専門性ですとか、地域性の情報は非常に求められるところだと思います。そんな中で常勤換算をしていくのは、いいのかなと私個人的には思うのですが、この原則、常勤職員の配置が困難である場合、この継続する期間、欠員継続の期間の、おおむねの定めみたいなものはあるのですか。

事務局 具体的に条例とか、国の規則とかでは、この欠員期間が何ヶ月何年続いたということは特に規定はされていませんので、それも含めて皆様にお諮りして、運用するときは、相談したいと考えております。

会 長 他に皆さんの方からご質問ご意見ありますでしょうか。
ないようですので、この条例の改正については説明の通りということで皆様にご承知を置くというところで止めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委 員 異議なし。

会 長 よろしくお願ひいたします。

～午後2時40分から笛吹市地域密着型サービス運営に関する委員会を開始～

(2) 笛吹市地域密着型サービス運営に関する委員会

① 地域密着型サービス利用状況について

事務局 資料に基づき説明

委員長 ただいま事務局からの説明が終了しました皆様からご意見、ご質問をお願いします。

今ご説明いただいた資料2にあるいろいろなサービス、1ページ目には定期巡回随時対応型訪問介護看護のような漢字がいっぱい並んでいるサービスがいくつかあります。笛吹市にお住まいの高齢者のみができる原則ですが、原則使えるサービス事業所というところで、その定員と現在の利用状況というところを今報告、説明いただいたというところでは、休止の事業所とかも出てきておりますが、本当に介護難民といえますか、介護を受けたいけれども受けられない高齢者が出ないようにしていかなければいけないと思っておりますので、ここについては市と事業者とで連携しながら適正な数、適正なサービス、適切なサービスというところを、私も事業所を運営していますので、努めていきたいと思っております。では、質問がなければ報告の通りとさせていただきます。

② 地域密着型サービス事業所の公募について

事務局 資料に基づき説明

委員長 はい今事務局から説明いただきました公募の概要につきましてについて、皆さんの方からご質問ご意見ありますでしょうか。

特にないようでしたら、この概要の通り公募を実施させていただきますので、皆様ご承知おきの方をよろしくお願いいたします。

③ 地域密着型サービス事業所公募審査委員の選任について

事務局 資料に基づき説明

委員長 今の説明の通りこの委員会から公募に当たって審査員として2名選任をしなければならないということになります。立候補される方いらっしゃいますか。

立候補者は特にいらっしゃらないようです。では、事務局の方から提案をよろしいでしょうか。

事務局 はい。民生委員児童委員協議会から天野委員、シニアクラブから曾根委員をお願いできますでしょうか。

委員長 天野さんと曾根さん。今事務局の方から2名推薦ありましたけれども、よろしければ皆さんの拍手をもって承認させていただきたいと思います。

委員 承認の拍手

委員長 ご承認いただきましたので、地域密着型サービス事業所公募の審査委員は曾根修一様それから天野寿喜様、2人の委員をお願いをしたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

④ 地域密着型サービス事業者の指定について

事務局 資料に基づき説明

委員長 では、ただいま事務局から説明をいただきましたご意見、皆様から事業所へのご要望等ありましたらお願いいたします。特にありませんか。

「寿の家」は市内で様々なサービスも提供していただいているところですので引き続きということ。この新しい事業所の方もしっかりと運営していただけるように、ぜひお願いします。では、この委員会としては指定に向けて進めていただけますようお願いいたします。

⑤ その他

事務局 先ほどご説明しました資料4は本日回収をさせていただきたいですので、机の上に置いたままお帰りいただけるとありがたいと思います。ご協力お願いします。

7 その他

委員 設置要綱等、この二つの設置要綱をお配りいただければありがたいのですが。

事務局 ご用意なくて大変申し訳ありませんでした。議事録と共に皆様にお送りします。

8 閉会